

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
 編集者：代表幹事 高橋 賢一
 連絡先：市民活動支援センター
 尾張旭市渋川町三丁目5番地7
 (渋川福祉センター内)
 TEL 0561-51-2878

曹洞宗茂林寺

分福茶釜と茂林寺
 当山分福茶釜の寺として知られており、寺伝によると開山大林遠に從て、伊香保から館林に來た守鶴は代々の住職に仕えました。
 茂林寺には2つの歴史がある。それは巨入軍の猛襲で、



2015/08/27



2015/08/27

元龜元年(1572)七世月舟正初の代に茂林寺で千人法会が催された際、大勢の来客を賄う湯釜が必要となり、その時守鶴は一夜のうち、このから一つの茶釜を持ち、きて本堂に備えまし。茶釜は不思議なことに、議などいらいら場を汲むこともでき、かありませで



2015/08/27



2015/08/27

守鶴は自らこの茶釜を分け与える。「紫金銅分福茶釜」と名付け、この茶釜の湯で喉を潤す者は、開運出世、寿命長久等、功德に接せると言います。

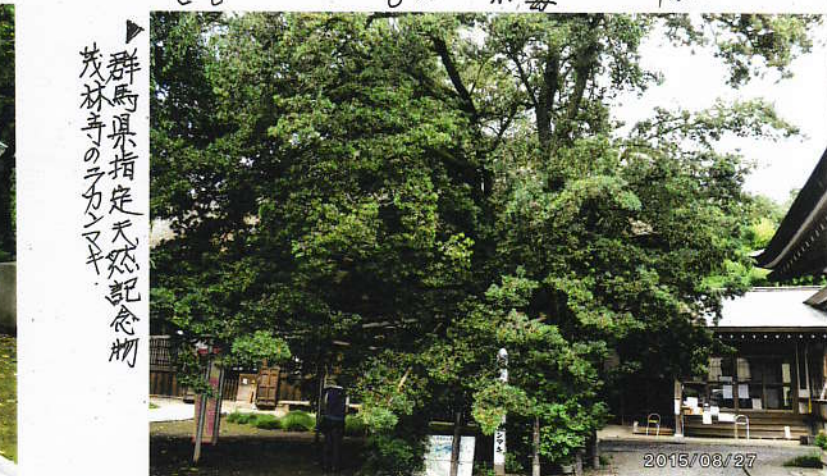
▲茂林寺の入口
 門前町の店頭には狸の置物が並び、これには驚き、三月、五月、九月以降は盆提灯の飾り、八月の今はカラガラでした。

正門を潜ると左右に大きな狸の姿をした陶器の置物が並び、迎えてくれた。

▲花と実
 ラカシギはイヌマキの変種とされるマキノ科の植物です。原産地中国、雌雄異株で毎年五月頃に花が咲く。又スギで樹勢や保存状態も良く樹高約十四メートル、幹の太さミハハメートルあり、群馬県の中でも最大樹のものです。



2015/08/27



2015/08/27

群馬県指定天然記念物
 茂林寺のラカシギ